

「児童参加によるブナ等の植林と熊の森づくり」 (三嶺の森をまもるみんなの会主催)

日 時： 令和3年5月9日(日) 8:30～16:00

場 所： 高知県香美市(みやびの丘付近)

内容

物部川源流(別府峡上流部)の山・森の一つ「みやびの丘」は、シカ食害によってササが衰退し、シカが好むウラジロモミ、リョウブ等の樹木が枯死・一部倒木しました。

今回のボランティア活動は、シカ食害の状況と二次被害である対岸の山々の崩れを知り、これまでの再生活動の成果と意義を認識してもらうため環境教育を行い、ブナ・ミズナラ・トチノキの植樹も行いました。

この活動を通じて、児童・生徒に防鹿柵の内外との違いなどの観察によって、自然を守る活動の大切さに気づいてもらうと共に、森・川・海のつながりにおいて、源流域の自然を守ることが下流域の環境保全につながることを認識してもらいました。

また、当日は別府峡上流域に生息する絶滅危惧地域個体群であるツキノワグマの専門家の説明もあり、生物多様性の意義についても知ってもらう活動となりました。

なお、今回の活動は「高知県清流保全パートナーズ協定」を締結している「株式会社土佐山田ショッピングセンター」の寄付により実施されました。

〈作業内容〉

- シカ食害観察(駐車場～山頂)
- GPS 装着熊の探索、熊の生態説明
- ブナ・ミズナラ・トチノキの植樹

〈当日の様子〉



防鹿柵内外の違いを観察する参加者



植樹を行う参加者